

一般社団法人常盤工業会 令和2年度事業報告（公益目的支出計画実施報告含む）

令和2年度（令和2年4月1日より令和3年3月31日まで）における事業概要を以下に報告する。

I. 法人の状況

1. 会員の異動

(1) 令和2年度末の会員数

令和3年3月31日現在

	会 員		正会員		正会員数の割合 (会費納入率)	
	会員数	前年度比	正会員数	前年度比	2年度	前年度
学生以外	25,480名	+507名	7,525名	-157名	29.5%	30.8%
学 生	2,958名	-35名	1,843名	-115名	62.3%	65.4%
合 計	28,438名	+472名	9,368名	-272名	32.9%	34.5%

(2) 令和2年度に死亡確認をした会員数 75名

2. 会議等開催状況

(1) 定時総会 令和2年5月13日（水）（みなし決議）

令和元年度事業報告および決算報告について原案どおり承認された。令和2年度事業計画および収支予算について報告した。

(2) 理事会 4回

令和2年4月25日（みなし決議）、令和2年10月5日（メール協議）、11月16日（みなし決議）、令和3年3月30日（みなし決議）

(3) 監 査 1回

令和2年4月16日

(4) 役員会 3回

令和2年4月14日、6月23日、令和3年3月19日

(5) 工学部との協議会 1回

令和2年8月27日

3. 会計状況

(1) 決算について

① 事業活動収入総額は、前期比9,358,962円減の57,294,031円であった（但し、前年度決算値の前受会費繰入額を除くと、前期比7,354,038円増である）。内訳は以下のとおり。

- ・ 終身会費一括納入用の払込用紙を同封することで一括納入者が大幅に増加した。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響で施設賃貸料収入が減となった。

② 経常費用総額は、前期比2,478,946円減の46,274,125円であった。内訳は以下のとおり。

- ・ 事業費は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、行事の中止や実施できない事業が相次ぎ、大幅な減となった。
- ・ 管理費も同様、総会行事の中止等で旅費交通費等が減となった。
- ・ 給与手当は、事務職員の退職金支払いがあった。

(2) 令和2年度会費の状況

① 正会費 4,048,000円（前年度 5,148,500円）

② 終身会費 47,050,000円（前年度 37,125,000円）（対象者555人中287名）

〔 令和2年度入学生(対象者)数に対する終身会費一括納入者・自払手続者数の割合は51.7%  
参考：R1年度入学生62.6%、H30年度入学生68.0% 〕

## II. 事業活動報告

### 公益目的支出計画

#### 1. 令和2年度公益目的支出計画実施報告

当法人は、平成24年4月1日に一般社団法人に移行し、公益目的支出計画の実施完了まで9年の予定で事業を進めており、公益目的支出計画の実施完了までの間は、事業年度ごとに公益目的支出計画実施報告書を作成し、事業年度の経過後3ヶ月以内に山口県に提出（電子申請）することになっている。令和2年度は計画9年目（最終年）で、概ね計画どおり実施した。公益目的事業収支差額はやや減少したが、事業全体に及ぼす影響はなく、計画どおり令和2年度末で公益目的財産残額は零となった。令和2年度末の公益目的収支差額、公益目的財産残額を以下に示す。

H23 認可時の公益目的財産額	130,976,447 円		
R2 年度末公益目的収支差額	131,393,797 円	公益目的財産残額	0 円
			(△417,350 円)
(           "           計画額	133,200,000 円	"           計画額	△2,223,553 円)

#### 2. 特定寄付（山口大学）

##### (1) 学生の経済支援給付金 700,000 円

工学部への寄付金のうち工学部運営のための寄付金を、新型コロナウイルス感染症の影響で生活が困窮している学生への経済支援給付金とされた。

##### (2) 工学部教育支援金 13,000,000 円

###### ・常盤工業会奨学金

学部生 32 名、大学院生 46 名、計 78 名に支給された。

###### ・人材育成等支援

機械工学科、社会建設工学科、応用化学科に支援を行った。

#### 3. 継続事業

##### (1) 人材育成支援事業助成（大学）

工学系サークル活動への支援は、新型コロナウイルス感染症の影響で学生生活活動が制限下にあったため、学生からの活動費助成金の申請はなかった。

##### (2) 人材育成支援実施事業（常盤工業会が主催）

令和2年度「常盤賞」の表彰を以下のとおり行った。

令和3年3月4日に表彰式を行い、学業優秀者（学部学生 14 名、博士前期課程学生 7 名）

並びに数学統一試験成績優秀者（1 名）合計 22 名（正会員）を表彰し、記念品（図書カード）を贈呈した。

### 令和2年度事業報告（公益目的支出計画における事業も含む）

#### I. 事業活動

##### I-1 工学に関する教育研究の振興ならびにこれらに関する人材育成に資する事業（公益事業）

#### 1. 講演会・講習会等の開催

##### (1) 常盤アドバンスドレクチャー in Tokyo「未来を切り開く技術開発」

令和2年6月20日（土）に東京工業大学キャンパスイノベーションセンター国際会議室にて、第1回講座を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、オンライン講座として山口大学工学部よりライブ配信という形で以下のとおり開催した。また、工学部との協議により、本講座を「令和2年度山口大学ホームカミングデー（オンライン開催）」行事の一環として位置づけた。

開催日：令和2年10月31日（土）

主催：一般社団法人常盤工業会      共催：山口大学工学部

運営：実行委員会（委員長：石田繁夫(機械 45)）および関東常盤会

受講対象：山口大学工学部卒業生・学生

配信方法：Zoom を使用（山口大学工学部より配信）

講座Ⅰ 「AI に関する研究動向と応用事例」

講師 間普真吾先生（山口大学工学部知能情報工学科教授）

講座Ⅱ 「ノーベル化学賞を受賞したリチウムイオンバッテリーの研究開発」

講師 實近健一先生（工化 52、山口大学 大学研究推進機構 URA、2019 ノーベル化学賞受賞 吉野 彰博士の共同研究者）

## (2) 第 4 回工学部ホームカミングデー「卒業生講演会」（共催）

令和 2 年 11 月 14 日開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため第 4 回工学部ホームカミングデーは中止となったため卒業生講演会も中止となった。

## 2. 講演会・講習会等を開催に対する支援

### (1) 「ちじょう IT 勉強会」の支援

「ちじょう IT 勉強会」（運営リーダー：知情 H27 清水亜麻衣）が実施する勉強会『YUMeeTech2020 Online』（令和 2 年 11 月 9 日開催）に係る経費を助成した。（年 2 回の対面による勉強会を計画していたが、新型コロナウイルスの影響によりオンライン開催とした。）

## 3. 山口大学工学部の支援および連携事業

### (1) 山口大学工学部への寄付

新型コロナウイルス感染症の影響で生活が困窮している学生への経済支援給付金、常盤工業会奨学金、各学科（機械工学科・社会建設工学科・応用化学科）への人材育成等のための寄付を行った。

### (2) 山口大学工学部との連携事業

令和 2 年 11 月 14 日に第 4 回工学部ホームカミングデー行事を共催で取り組む予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

## 4. 工学部学生支援事業

### (1) 「常盤賞」表彰

令和 3 年 3 月 4 日に表彰式を行い、学業優秀者（学部生・博士前期課程学生）21 名および工学系数学統一試験成績優秀者 1 名、計 22 名を表彰した（表彰対象は正会員）。受賞者には記念品（図書カード）を贈呈した。

### (2) 学生が企画するプロジェクト活動の支援

新型コロナウイルスの影響で、学生活動が制限下にあったため学生から支援の申請はなかった。

### (3) 「常盤祭」支援

新型コロナウイルスの影響により常盤祭は中止となった。

### (4) 常盤キャンパスワンコイン朝食事業支援

新型コロナウイルスの影響を受け、学生が通学できない状況が続いたためワンコイン朝食事業は実施されなかった。

## I-2 会員交流親睦および相互啓発に資する事業（共益事業）

### 1. 会誌刊行事業

会誌「常盤」85号・86号冊子版、WEB版を7月、12月に発行した。また、85号より表紙デザインのリニューアルを行った。digest版については、新型コロナウイルスの影響で学生の大学への入構が制限下にあったため発行を中止した。尚、digest版は令和3年度より発行を中止することとした。

### 2. 学術文化交流振興事業

#### (1) 地域の留学生と日本人との交流

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、常盤工業会主催の第33回留学生交流会は中止とした。また、宇部留学生交流会主催行事もすべて中止となった。

#### (2) 対外支援

##### ①「宇部留学生交流会」の支援

新型コロナウイルスの影響に伴い、宇部留学生交流会のすべての事業活動が中止となったため、助成金の申請は辞退された。

##### ②「山口大学同窓会」の支援

- ・理事会への出席、事業に対する協力（基金関連資料を会誌に同封、ヤマミィカードを卒業記念品一式に同封）を行った。
- ・山口大学同窓会分担金については、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、通常の実業を行うことができなかつたため徴収されなかつた。

##### ③宇部環境国際協力協会への助成

宇部環境国際協力協会の法人会員として会費を支払った。

### 3. 会員交流事業

#### (1) 地域同窓会交流事業

##### ①地域同窓会代表者会議の開催

令和2年11月14日（土）開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

##### ②各地域同窓会の活動に対する支援

地域同窓会（29地域）に対し、総会開催のための通信費等の支援を行った。

##### ③交流活動（地域同窓会と本部、工学部）

新型コロナウイルスの影響を受け、各地域同窓会の総会は中止となったため、交流活動はできなかつた。

#### (2) 工学部ホームカミングデー

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、工学部ホームカミングデーは中止となり、交流活動はできなかつた。

#### (3) 学生との交流

##### ①入学時

入学式、保護者会ともに中止となったので常盤工業会紹介リーフレットおよび会誌84号は配布できなかつた。入学生には工学部を通じて「TOKIWA digest」84号を配布した。

##### ②2年次学科別オリエンテーション

常盤工業会会館の紹介として「会館のしおり」を、工学部を通じて配布した。

③卒業時

学部卒業生に会長からの祝辞文を同封し、記念品（名入れボールペン）を贈呈した。また、事務局からのお祝い文、住所連絡用はがき、常盤工業会紹介リーフレット（地域同窓会紹介）等を卒業生、博士前期修了生に配布した。

④総会および地域同窓会代表者会議懇親会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総会および地域同窓会代表者会議は中止した。

#### 4. 常盤工業会会館の有効活用および維持管理（収益事業・共通事業）

(1) 会館の有効活用

①貸室および宿泊施設

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況に応じて利用制限を行った。

②テナント

- ・「宗本恭子」との契約を解除した。（令和2年10月31日付）
- ・「榎総合資格」と契約を締結した。（令和2年12月1日付）

(2) 会館施設の維持管理

①会館内の害獣（ネズミ）駆除

調査と駆除を業者に依頼したところ、発生源はテナント「1.9亭」と思われることから「1.9亭」と協議を行い、対象全区域の初回調査費および初回駆除に係る費用は常盤工業会が負担し、2回目以降の駆除費は「1.9亭」負担とした。

②西側駐車場境界塀改修工事（補強）

工事内容について隣家の同意を得られず、また新型コロナウイルスの影響で業者の手配が困難であったため当面保留としている。

### Ⅲ. 法人管理運営部門

1. 一般社団法人移行後の行政庁への対応

令和2年6月2日に山口県への公益目的支出計画実施報告申請が完了した。

2. 会員増強対策の推進（会員の住所把握・会費納入促進）

①会誌、ホームページを活用してPRを行った。

②新卒者について学生時のメールアドレスを利用して工学部から住所連絡をお願いした。

令和2年度事業報告書 付属明細書A

公益目的支出計画実施報告明細書

(1) 令和2年度公益目的事業収支報告

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで(単位:円)

項 目 事業内容	支 出		差異(A-B)	摘 要
	A R2年度予算額	B R2年度決算		
<b>特定寄附</b>				
寄附1-国立大学法人山口大学への寄附	13,700,000	13,700,000	0	工学部運営70万、常盤工業会奨学金1090万、人材育成支援210万(機械、社建、応化) (H30より日中学術 助成なし)
寄附2-(公財)山口大学後援財団への寄附	0	0	0	(H29年度末で山口大学後援財団解散)
特定寄附 合計	13,700,000	13,700,000	0	
<b>継続事業(工学教育振興事業)</b>				
<b>(1) 人材育成支援助成事業(大学関係)</b>				
①工学系数学統一試験実施部会助成金	0	0	0	(R2より助成なし)
②工学系サークル活動等支援	300,000	0	300,000	新型コロナウイルスの影響により活動なし
<b>(2) 人材育成支援助成事業(地域関係)</b>				
①長科科楽維新プロジェクト(助成)	0	0	0	(H30より助成なし)
<b>(3) 人材育成支援実施事業</b>				
①「常盤賞」表彰事業	200,000	235,840	△ 35,840	学業優秀学生22名表彰、記念品代、賞状作成費
②学生キャリア教育支援「特別講義」の実施	0	0	0	(カリキュラム変更のためH27より開催なし)
継続事業総(1)~(3) 合計	500,000	235,840	264,160	
<b>公益目的事業費 総合計</b>	<b>14,200,000</b>	<b>13,935,840</b>	<b>264,160</b>	

(2) 公益目的支出計画と実施状況

①公益目的支出計画表(公益目的財産額算定日:平成24年3月31日) 単位:円

年	年度	公益目的事業 収支差額(単年度)	各事業年度末日の 公的用途の収支差額	公益目的財産 残額	公益目的事業 支出額見込額 (単年度)	(内訳)		公益目的 事業収益 額
						(特定寄附)	(継続事業)	
	23	-		130,976,447	0	-		-
1	24	14,800,000	14,800,000	116,176,447	14,800,000	13,800,000	1,000,000	0
2	25	14,800,000	29,600,000	101,376,447	14,800,000	13,800,000	1,000,000	0
3	26	14,800,000	44,400,000	86,576,447	14,800,000	13,800,000	1,000,000	0
4	27	14,800,000	59,200,000	71,776,447	14,800,000	13,800,000	1,000,000	0
5	28	14,800,000	74,000,000	56,976,447	14,800,000	13,800,000	1,000,000	0
6	29	14,800,000	88,800,000	42,176,447	14,800,000	13,800,000	1,000,000	0
7	30	14,800,000	103,600,000	27,376,447	14,800,000	13,800,000	1,000,000	0
8	1	14,800,000	118,400,000	12,576,447	14,800,000	13,800,000	1,000,000	0
9	2	14,800,000	133,200,000	△ 2,223,553	14,800,000	13,800,000	1,000,000	0
	合計				133,200,000	124,200,000	9,000,000	0

②公益目的支出計画実施状況(令和3年3月31日) 単位:円

年	年度	公益目的事業 収支差額(単年度)	各事業年度末日の 公的用途の収支差額	公益目的財産 残額	公益目的事業 支出額(単年度)	(内訳)		公益目的 事業収益 額
						(特定寄附)	(継続事業)	
	23	-		130,976,447	0	-		-
1	24	14,627,436	14,627,436	116,349,011	14,627,436	13,800,000	827,436	0
2	25	14,694,900	29,322,336	101,654,111	14,694,900	13,800,000	894,900	0
3	26	14,927,641	44,249,977	86,726,470	14,927,641	13,800,000	1,127,641	0
4	27	14,960,121	59,210,098	71,766,349	14,960,121	13,800,000	1,160,121	0
5	28	14,661,972	73,872,070	57,104,377	14,661,972	13,800,000	861,972	0
6	29	14,660,121	88,532,191	42,444,256	14,660,121	13,800,000	860,121	0
7	30	14,476,566	103,008,757	27,967,690	14,476,566	13,700,000	776,566	0
8	1	14,449,200	117,457,957	13,518,490	14,449,200	13,700,000	749,200	0
9	2	13,935,840	131,393,797	△ 417,350	13,935,840	13,700,000	235,840	0
	合計				131,393,797	123,900,000	7,493,797	0

## 令和2年度事業報告書 附属明細書B-1

### 1. 令和2年度定時総会行事について

みなし決議としたので特記事項なし

### 2. 公益目的支出計画における継続事業について

#### (1) 工学系サークル活動の支援

サークルからの申請はなかったため特記事項なし

#### (2) 「常盤賞」受賞者（学業優秀者）22名

伊藤 祐希(機械4年) 竹田 大騎(機械4年)、松井 花鈴(社建4年)、山口真理菜(社建4年)  
江原 寧々(応化4年)、西岡 優佑(応化4年)、牧平 祥弥(電電4年)、作本 武駿(電電4年)  
山本 遥香(知情4年)、富田 大喜(知情4年)、新川 悠香(感性4年)、上ヶ内聡太(感性4年)  
川崎 大輝(循環4年)、伊達 敏和(循環4年)  
大坪 宙熙(M機2年)、大中 臨(M建2年)、津森 崇行(M建2年)、澤山 沙希(M化2年)  
若林 弘輝(M化2年)、弘瀬 和正(M電2年)、藤本 一輝(M電2年)、  
鯨吉 樹(社建4年、数学統一試験)

### 3. 山口大学工学部の支援および連携事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため工学部ホームカミングデーは中止となったため特記事項なし

### 4. 工学部学生支援事業について

#### (1) 「常盤賞」受賞者（課外活動優秀者）

学生活動が制限下にあったため該当者なし

#### (2) 常盤キャンパスワンコイン朝食事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施されなかったため特記事項なし

### 5. 会誌刊行事業について

会誌「常盤」の発行部数および配布先

「常盤」85号 令和2年7月15日発行 68頁 22,000部

配布先：全会員、工学部教職員、学生帰省先

「常盤」86号 令和2年12月15日発行 36頁 8,600部

配布先：正会員、工学部教職員、当年度入学生の帰省先、次年度新入生

### 6. 学術文化交流振興事業について

第33回留学生交流会（常盤工業会主催）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としたため特記事項なし

### 7. 地域同窓会交流事業について

#### (1) 地域同窓会代表者会議

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としたため特記事項なし

#### (2) 地域同窓会総会への参加者（本部役員、教員）

総会を開催した地域同窓会はなかったため特記事項なし

#### (3) 地域同窓会活動に対する支援金内訳

附属明細書B-2

### 令和2年度 地域同窓会活動支援金内訳

(会費納入者数:令和2年3月31日現在の常盤工業会データベースにおける令和元年度分会費納入者)

コード	地域同窓会名	前年度 会員数	①会員数	②会費 納入者	参考:②の 内終身会費 納入者	会費納入率 % ②/①	活動支援金額	備 考
49	北海道	18	16	10	2	63%	5,000	活動休止中
	北海道地区	18	16	10	2	63%		
54	東北常盤会	32	31	10	3	32%	5,000	活動休止中
36	関東-機械	302	317	132	7	42%	66,000	
07	関東-資源・機材	141	138	49	0	36%	24,500	
26	関東-化学	378	379	129	15	34%	64,500	
37	関東-土木建設	334	325	118	8	36%	59,000	
42	関東-電気電子情報	360	369	108	22	29%	54,000	
44	関東-生産機械	90	89	27	0	30%	13,500	
	東日本地区	1,637	1,648	573	55	35%		
11	愛知	247	261	99	25	38%	49,500	
53	北陸	35	38	12	4	32%	6,000	活動休止中
	東海地区	282	299	111	29	37%		
01	関西-機械系	380	382	103	12	27%	51,500	
02	関西-資源系	113	114	28	0	25%	14,000	報告なし
03	関西-化学系	245	237	60	5	25%	30,000	
04	関西-土木系	276	273	92	9	34%	46,000	
05	関西-電気系	255	261	70	9	27%	35,000	
45	姫路	161	162	49	9	30%	24,500	
	関西地区	1,430	1,429	402	44	28%		
41	岡山	280	294	85	15	29%	42,500	
38	鳥根県庁	40	37	9	1	24%	4,500	
24	東広島	46	76	23	3	30%	11,500	活動休止中
35	呉	78	81	26	5	32%	13,000	
19	マツダ	224	227	55	17	24%	27,500	
27	日本製鋼所	35	42	15	5	36%	7,500	辞退
46	広島ときわ会	140	137	59	4	43%	29,500	
31	三菱ケミカル	31	30	1	0	3%	500	
	中国地区	874	924	273	50	30%		
06	四国常盤会	18	18	8	1	44%	4,000	
47	四国常盤工業会	49	104	37	11	36%	18,500	
	四国地区	67	122	45	12	37%		
09	北九州	739	755	217	49	29%	108,500	
51	福岡	421	453	131	23	29%	65,500	
30	熊本	77	80	29	14	36%	14,500	
	九州地区	1,237	1,288	377	86	29%		
23	三新化学	12	11	6	0	55%	3,000	
34	徳山高専	13	13	13	0	100%	6,500	組織廃止
52	トクヤマ常盤会	70	68	12	1	18%	6,000	
56	東ソー常盤会	67	67	14	3	21%	7,000	
29	山口県庁	185	182	55	17	30%	27,500	
22	下関市役所	28	31	9	5	29%	4,500	報告なし
50	山口ときわ会	44	42	16	0	38%	8,000	
	山口県地区(宇部除く)	419	414	125	26	30%		
16	宇部地区合同	1,034	1,026	422	41	41%	211,000	
合 計		6,998	7,166	2,338	345	33%	1,169,000	
							未送金額	-60,000
							送金額	1,109,000

#### 宇部地区合同同窓会事業所

16	全体	1,034	1,026	422	41	41%	211,000
10	(宇部興産機械)	70	72	71	10	99%	
12	(セントラル硝子)	25	27	27	2	100%	
15	(新光)	27	30	9	2	30%	
20	(宇部市役所)	64	61	59	1	97%	
25	(宇部興産化学部門)	27	27	7	0	26%	
	(ほか)	821	809	249	26	31%	